

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	毛戸元気高齢者を作る会	代 表	会長 小林幹夫
地域（市町村）	相双・いわき（川内村）	加入世帯数 （人数）	18 世帯（25 名）
<p>(1) 自治会の主な活動 芋煮会、餅つき大会、親睦旅行、グランドゴルフ大会、パークゴルフ、いきいきサロン、防火・防犯活動ほか</p> <p>(2) 自治会の特徴 川内村東部にあり東京電力福島第一原発から 20 キロ圏内にある。平成 26 年 10 月および平成 28 年 6 月に避難解除となった地域であるが、若い世代は殆ど帰還しておらず高齢化率は高い。ただ、小さい地域であるがゆえ会員全員が顔見知りであり、親戚仲間のように和気あいあいとしたいい雰囲気がある。</p> <p>(3) 今年度実施事業 毛戸高齢者支え合いコミュニティ支援事業</p> <p>(4) 事業の主な活動内容（具体的には上記の主な活動に同じ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしや高齢者世帯が多いため住民間の交流や道後の親睦を深める活動 ・ 毎週月曜日のグランドゴルフの実施やクロリティ・カーリングの実施、また保健師などによる健康相談等を行い健康づくりを目的とした活動 ・ 山間にある地域のため、会員自身による防火・防犯を目的とした啓蒙活動 <p>(5) 本活動を実施することの背景 地位委の高齢者が主体となって住民同士の交流を深め、さらに健康増進運動を行い「いきいき高齢者」を目指し、引きこもり防止を図りながら自主的な防火・防犯活動を行うことで安心な地域コミュニティを作っていきたい。</p> <p><町内会事業をとおして> 仕事をしている人も多い中で、取材日は会員全体の 8 割程度の参加率があった。この参加率が会員の意識の表れであり、自分たちの手でこの地域を改めて動かしていこうといういい雰囲気があると会長は話されていた。地域の防災については、若い人が避難しているため地域に消防団がなく、また近くの消防署から当地区まで車で 20 分かかることもあり、より地元の安心・安全は地元民の手で頑張っていきたいという意識が感じられた。</p>			

活 動 内 容

①（左）村議会議員でもある地区の事務担当の高野政義さん、（右）会長の小林幹夫さんにお話を伺った。



③防災の話の後、署員の指導による消火器訓練が行われた。消火器購入に関する話から、その使い方まで様々な質問が出ていた。



②取材日は富岡消防署川内出張所の署員2名による防災に関する話を伺った。

